

JA全農いわてからの約束！ 純情産地いわてブランドプロミス

「純情産地いわて」は、30年以上にわたり岩手県産農畜産物の魅力を全国へ発信してきたJA全農いわてのブランドです。

令和3年度に、農業を取り巻く環境の変化や職員の世代交代を踏まえ、ブランドを改めて見つめ直し、生産者・消費者・地域社会への約束として「純情産地いわてブランドプロミス」を制定しました。

制定から6年目となる今、改めてブランドプロミスに込められた想いを振り返ります。

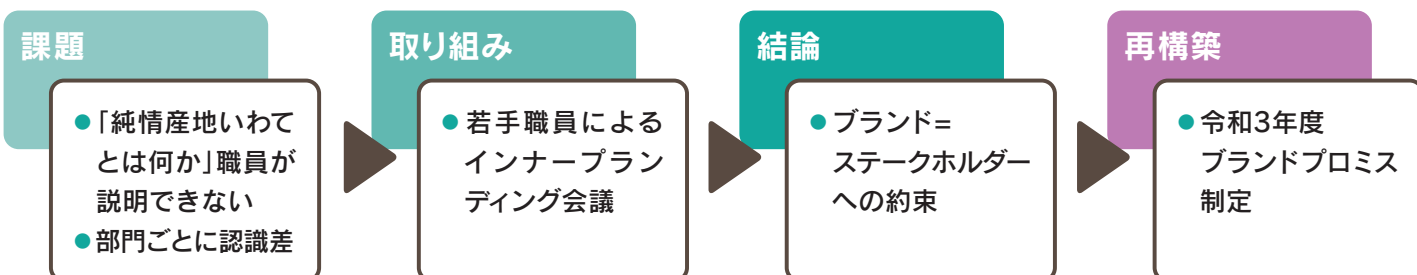
なぜブランドプロミスを制定したのか

平成元年から使用してきた「純情産地いわて」ブランドは、多くの関係者に支えられながら発展してきました。

一方で、職員の世代交代や農業を取り巻く環境の変化が進む中、「純情産地いわてとは何か」「JA全農いわてが目指す姿とは何か」を職員が自信を持って説明できない状況も見られるようになりました。

そこで令和元年、各部門の若手職員を中心としたインナーブランディング会議を立ち上げ、ブランドの再構築に取り組みました。

ブランド再構築の流れ



ブランドとはステークホルダーへの約束

インナーブランディング会議での検討の結果、本会では**ブランド＝ステークホルダーへの約束**と定義しました。

そして、生産者・消費者・地域社会の3者をステークホルダーと位置づけ、それぞれに対するJA全農いわての理想像を整理しました。ブランドプロミスは、これらの理想に向けて努力し続けることを宣言したものです。



純情産地いわてブランドプロミス

厳しくも豊かな自然に育まれ、色とりどりの価値を生み出す岩手の農業。

岩手らしさの定義①：品種の多様性

それは、この地に生きる生産者のひたむきな想いに支えられています。

岩手らしさの定義②：県民性としてのまじめさ

私たちは、生産者とともに、その想いを消費者の食卓へとひろげ、

協同組合組織としての意識

プロミス①：最終消費者の視点を持ち、岩手産品の付加価値を高める

岩手の農業を継承し、価値を高め、未来へつなげます。

プロミス②：一過性で無い、岩手農業の継続的な発展への意志

また、私たち自身も地域社会の一員として、強く根を張り、

ローカルマインドの表明（全国組織だが、地域の一員である）

岩手の未来をまえむきに支え続けます。

プロミス③：コミット範囲の拡大（農畜産品から地域の未来へ）

「つなげる」「ひろげる」「根を張る」

つなげる活動：岩手農業の継承施策 ひろげる活動：消費者向け施策 根を張る活動：地域社会向け施策

貴会の重点的な活動の“くくり”として使用する事を想定。

これが、私たち“JA全農いわて”の約束です。

ロゴマークの意味や想い

このロゴマークは、ブランドプロミスに込められた想いを視覚的に表現したものであり、「まえむきに ひたむきに」というスローガンとともに、その想いを広く伝える役割を担っています。ロゴマークには、「岩手らしさ」を表現するさまざまな工夫が取り入れられています。

① 多彩な農畜産物

全国有数の生産量を誇る県産農畜産物をモチーフとして取り入れ、「品目の多彩さ」という岩手らしさを表現しています。

② まえむきに、ひたむきに

厳しい自然環境の中でも前向きに暮らし、農業に取り組む生産者の姿勢を表現しています。

③ 親しみやすいデザイン

岩手の自然や人の温かさを、親しみやすい幾何学模様と柔らかな色彩で表現しています。



まえむきに
ひたむきに
純情産地
いわて

私たちの業務とブランドプロミス

ブランドプロミスは、広報や販売部門だけのものではありません。

営農支援、生産資材供給、物流、管理業務など、本会のあらゆる業務は、生産者・消費者・地域社会への約束を実現するための取り組みです。私たち一人ひとりの日々の業務が、ブランドプロミスの実践につながっています。

「この仕事は誰のために行うのか」「生産者・消費者・地域社会への約束をどのように実現するのか」を考えることが、ブランドプロミスを実践する第一歩となります。

職員一人ひとりが日々の業務の中で「まえむきに ひたむきに」を実践しながら、岩手の農業と地域社会の発展に取り組んでいきましょう。



営農支援部
営農技術課
千葉 克彦

水稻初期害虫の 効率的な防除

県内の初期害虫の発生状況と防除

県内の水稻初期害虫（イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ）は、近年少発生が続いています（図1）。これは育苗箱施用殺虫剤による防除が例年約7割の実施率（病害虫防除所年報）となっていて、広域的に防除が実施されているためです。

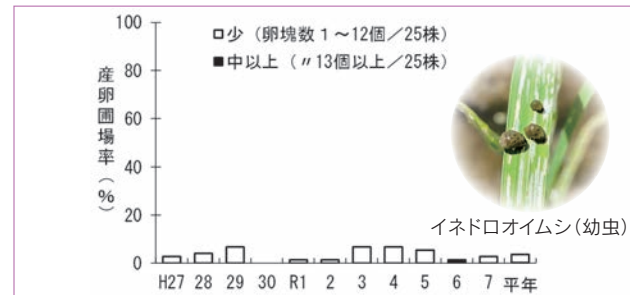


図1 イネドロオイムシの産卵圃場率の年次推移
(6月中旬、卵塊数 病害虫防除所)

初期害虫の隔年防除

箱施用剤を使用する場合の多くは、殺虫殺菌の混合剤が選択されています。いもち病等の病害は気象条件によって多発する場合があるので毎年防除が必要ですが、初期害虫は年1回の発生で個体密度が急激には増加しないため、必ずしも毎年防除が必要なわけではありません。

県農業研究センターは平成15年の研究成果で、一斉防除で地域の害虫密度を低下させると、その後数年間は防除の必要がない程度の発生に抑制されるとしています。

被害程度	I	II	III	IV
食害圃場率 (%)	10%未満	10%~30%未満	30%~50%未満	50%~
遠視による被害	被害が確認できない	水田の白さが散見される	水田全体が白く見える	水田全体が茶色に見える

表1 調査に使用した食害程度基準

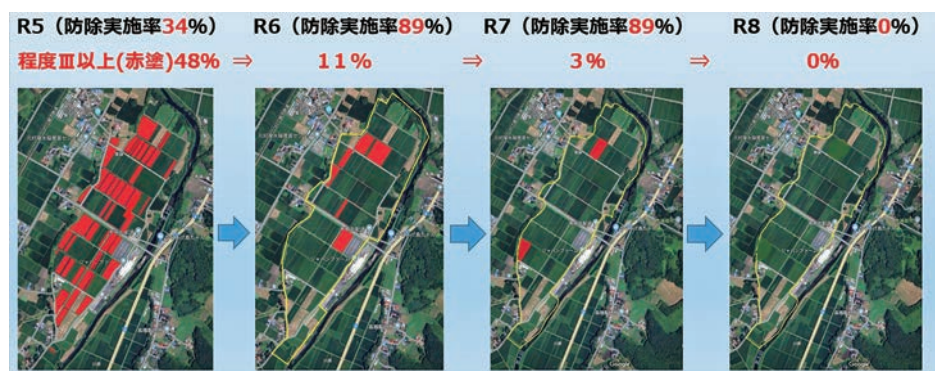


図2 隔年防除検討地域における各年の防除実施率と被害状況

隔年防除の地域実証

JA全農いわて営農支援部では令和5年から、県病害虫防除所・JA等と協力して、初期害虫の隔年防除について実証を行っています。

実証を行った地域では、しばらく箱施用剤を使用していなかったため、多くの圃場で葉が食害を受け、分けつが抑制されて収量が減少するほどの発生状況でした。

調査は、6月下旬に初期害虫による食害の被害状況を表1の食害程度基準を用いて、畦畔からの観察による遠視調査で行いました。

令和5年の発生状況は圃場の約半数が被害程度Ⅲの多発状態であったため、6・7年の2年間は地域の害虫密度を下げ、地域全体で箱施用剤による防除を実施しました（実施率89%）。7年は、ほとんどの圃場で極少発生となったので、8年は地域一斉に無防除としました。その結果8年の発生状況は、ほとんどの圃場が発生程度Ⅰで多発圃場は認められず、隔年防除が可能であることが確認されました（図2）。

9年の防除については、今後地域の農家と検討会を開催して決める予定です。



イネミズゾウムシ

隔年防除のポイント

初期害虫の隔年防除は地域全体で一斉に取り組むことが必要です。地域ばらばらでは地域の害虫密度が十分に低下しないため無防除の圃場で発生が多くなり、結局毎年防除が必要ということになってしまいます。

皆さんも地域で話し合って効率的に初期害虫の防除をしてみませんか。

「純情産地いわて」が目指す「理想像」その3つの柱。

●各事業部プロミス活動●

「つなげる」

いわての農業を継承し、
価値を高め、
未来へ繋げる。



岩手県TACパワーアップ大会

令和8年7月16日（木）

紫波町で「令和8年度岩手県TACパワーアップ大会」を開催し、県内JAのTACや関係者約50人が参加しました。大会では、JA新いわて、JA岩手ふるさと、JAおおふと、JAいわて平泉の4JAが、担い手への経営支援や課題解決に向けた活動事例を発表しました。参加者は各JAの取り組みを共有し、支援力向上に向けて研鑽を深めました。講評では、関係機関と連携しながら担い手の課題解決や持続可能な農業経営の実現に取り組む姿勢が高く評価されました。また、午後にはJA全中営農・担い手支援部の上保貴彦氏による講演が行われ、事業承継や生前相続に関する基礎知識や相談対応のポイントについて学びました。大会を通じて、担い手支援のさらなる充実に向けた意識醸成が図られました。



担い手の生前相続について講演する、JA全中の上保貴彦さん

銀河のしずく10周年ありがとうキャンペーン説明会

令和8年7月31日（金）

本会は、「銀河のしずく」デビュー10周年を記念し、県外の消費者を対象とした全国規模の「銀河のしずく10周年ありがとうキャンペーン」を実施します。対象商品購入者へのプレゼント企画を通じて、消費者への感謝を伝え、同時に、「銀河のしずく」の認知度向上と販売拡大を図ります。

また、令和8年産米の安定供給に向けて集荷推進を強化し、生産者・JA・取引先との結び付きを一層深めながら販売拡大に取り組みます。さらに、「結びつき販売の強化と拡充」「新たな需要の開拓」「需要変化を見据えた対応強化」を3つの柱として、実需者との連携や販促活動を積極的に展開し、「いわて純情米」の需要創出とブランド価値向上を進めます。



銀河のしずく10周年ありがとうキャンペーンWeb説明会の様子

「ひろげる」

生産者とともに、
その想いを
消費者の食卓へと
広げる。



「根を張る」

地域社会の
一員として、
強く根を張る。



花巻東高校野球部へ県産農畜産物贈呈

令和8年7月31日（金）

4年連続14回目の甲子園出場となる花巻東高校野球部の活躍を祈念し、JAいわて花巻と本会は7月31日、花巻東高等学校で「第108回全国高等学校野球選手権大会出場記念贈呈式」を開催しました。贈呈式には選手をはじめ、JAいわて花巻の小田島浩徳代表理事専務、本会の立花工副本部長が出席し、JAいわて花巻から花巻産ひとめばれ120kgと金一封、本会からいわて純情豚1頭分と金一封を贈呈しました。

小田島専務と立花副本部長から「岩手県産農畜産物を食べて、ぜひ、岩手県初となる優勝旗を持ち帰ってきてほしい」と選手にエールを送り、選手代表は「地域の皆さんの応援に感謝している。一戦一戦全力で戦う」と力強く応えました。



花巻東高校へ県産農畜産物を贈呈

純情ブランド消費地の「今」をレポートします。

消費地だより



園芸販売センター
佐藤 麻美

『いわて純情野菜トップセールス』の開催

いわて純情野菜の本格出荷にあたり、達増岩手県知事と伊藤県五連会長、県内JA組合長により「いわて純情野菜トップセールス」を7月24日(金)に開催しました。

今年は、東京都中央卸売市場豊洲市場において初めての開催となり、東京シティ青果(株)のご協力により多くの買参人の方々に「いわて純情野菜」をPRしました。

達増知事からは「日本の食料供給を守り、豊かな食文化を支えていきたい。そのためにも、生産者がひとつひとつ丹精込めて育てた安全で安心な夏野菜を関係団体一丸となってみなさまにお届けしてまいります」とあいさつがありました。ま

た伊藤会長からは「岩手県産の野菜を初めて豊洲市場でPRできることは、産地にとって生産意欲の向上に繋がる。高品質な野菜をお届けしたい」と本格出荷に向け買参人にアピールしました。

トップセールスの最後には、純情産地いわて応援団長の天津木村さんから、いわて純情野菜をイメージした詩吟が披露され、会場は大きな笑いと拍手に包まれました。

トップセールス終了後には、岩手県産野菜の詰め合わせを買参人に配布し、買参人の方々からは鮮度・味など「いわて純情野菜」への評価の声をいただきました。

『いわて純情野菜フェア』の実施(ヤオコー新浦安店)

同日、スーパーマーケットのヤオコー新浦安店にて「いわて純情野菜フェア」を実施いたしました。きゅうりを初めとする果菜類・い

わて春みどり・しいたけ等、各品目を取り揃えて販売し、多くのお客様に岩手県産の野菜を手にとっていただくことができました。

『いわて夏野菜フェア』の開催

「いわて純情野菜」の出荷期間にあわせ、岩手県青果物生産出荷安定協議会では都内でレストラン事業を展開する(株)ムーンエレファントジャパンと連携し、「いわて夏野菜フェア(7

月15日～8月28日)」を銀座クルーズ系列6店舗で開催しました。いわて純情野菜をはじめ県産農畜産物を使用した料理を提供し、首都圏の消費者に岩手のおいしさをお届けしました。

9月以降も、野菜・しいたけ・果実等、たくさんのいわて純情野菜をたくさんのお客様に手に取っていただけるよう積極的に販売してまいりますので、よろしくお願いいたします!



いわて純情野菜トップセールス



いわてフェア(ヤオコー新浦安店)



【開催店舗(全6店舗)】
○サンシャインクルーズ・クルーズ ○リストラテペニーペニー
○青山 星のなる木 ○天空の庭 星のなる木 ○新宿 星のなる木 ○横浜 星のなる木

フェア期間中に対象メニューをご注文した方
24名様に抽選で下記いずれかをプレゼント!
いわて野菜セット/いわてのお米詰め合わせ/いわて牛



主催/岩手県青果物生産出荷安定協議会(お問合せ:019-629-5735 岩手県農林水産部流通課内)
協賛/いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会・いわて牛普及推進協議会

いわて夏野菜フェア

▼いわての牛肉フェア

盛岡つなぎ温泉で9月1日(火)～30(水)に「いわての牛肉フェア」を開催します。期間中つなぎ温泉内の対象旅館で「いわて牛・岩手県産牛」を使用したメニューが提供されます。

■期間…令和8年9月1日(火)～9月30日(水)

■実施店舗・対象施設

●湯守 ホテル大観 ●ホテル紫苑 ●四季亭 ●丸家旅館 ●愛真館 ●旅染屋山いち
●三代目 山新 ●清温荘 ■つなぎ温泉観光協会: <https://tsunagionsen.com/>

本会は、「つなぎでつなぐ盛岡さんさ踊り」を特別協賛しており、ホテル紫苑では、4月11日から3月31日まで、「盛岡さんさ踊り」を年間333日開催しています。

公演時間は20時15分から20時45分までの30分間で、宿泊された方は無料で観覧できます。本会では1年間を通してつなぎ温泉利用客へ県産農畜産物のPR活動を実施します。

いわて牛

いわて牛は東京食肉市場で開催される全国肉用牛枝肉共励会において、全国最多11回の日本一に輝いている日本最高級のブランド牛です。

いわて牛の基準

牛の品種は、黒毛和種であること。肉質等級が「3」以上で、かつ歩留等級が「B」以上であること。最長の飼養地が岩手県であり、最終の飼養地が岩手県であること。そして、いわて牛普及推進協議会会員出荷団体より出荷されたものであること。

いわて牛



期間中、温泉内の下記旅館ではいわて牛・岩手県産牛を使用したお食事を提供します。

【施設名】	【内容/いわて牛使用】	【受付】	【電話番号】	【施設名】	【内容/岩手県産牛使用】	【受付】	【電話番号】
湯守 ホテル大観	別邸うらたけ(いわて牛使用)	1泊2食付プラン	0570-072-780	愛真館	夕食バイキング(岩手県産牛の焼きしゃぶ)	1泊2食付プラン	019-689-2111
ホテル紫苑	特選「前沢牛プラン」	1泊2食付プラン	019-689-2288	旅染屋山いち	県産黒毛和牛鉄板焼き	追加メニュー	019-689-2704
四季亭	基本懐石(いわて牛付)	1泊2食付プラン	019-689-2021	三代目山新	岩手県産黒毛和牛プラン	1泊2食付プラン	019-601-4343
丸家旅館	いわて牛焼板焼きプラン	1泊2食付プラン	019-689-2016	「岩手県産牛」とは 最長・最終「飼養地」が「岩手県」である牛			
清温荘	いわて牛コース(いわて牛の吹き寄せ・林業焼き)	1泊2食付プラン	019-689-2321				

「いわて牛」とは? ～日本の頂点を極めた「旨さ」をあなたにも～

岩手県内で生産された黒毛和種で、歩留等級「B」以上、肉質等級「3」以上の霜降り牛肉のことです。全国肉用牛枝肉共励会において最多11回の日本一に輝いている日本最高級のブランド牛です。

以下の基準を満たす「牛枝肉」を、「いわて牛」と定義しています。

①牛の品種が黒毛和種であること ②肉質等級が「3」以上であること ③歩留等級が「B」以上であること ④最長・最終「飼養地」が「岩手県」であること



いわて フラワー フェスティバル

2026.8/29(土) - 9/30(水)

※写真はすべてイメージです。

抽選で
**60名に
当たる!**

いわての花フェア 8/29(土) 10:00-17:00

会場 イオンモール盛岡南 1Fセンターコート 問合せ 事務局 (TEL 019-629-5707)

入場
無料

フラワーオブジェの展示 PRイベント 11:30~15:00~

県内生花店やNPO法人Green Fieldsによるフラワーオブジェやアレンジメント、寄せ植えの展示をご覧いただけます。



わんこ
きょうだいも
遊びに来よう!



ワークショップ

【先着順・無料(各回30分程度)】

10:30~14:00~16:00~

親子を対象としたフラワーアレンジメントなどの

制作教室を開催します!

さらに、アンケートにご協力いただいた方に
先着順で切花りんどうをプレゼント!



鉢花りんどう プレゼント

いわてフラワーフェスティバルの期間中、下記の生花店でお花を購入した方の中から抽選で鉢花りんどうをプレゼントします!

抽選プレゼント企画実施店

盛岡市	佐藤生花店 田村フローリスト バルテール 盛岡本宮店 フローリスト大川
宮古市	獲得生花店
大船渡市	加茂ガーデン フラワーショップもりかわ
花巻市	エンドウ花店 カマダ生花店 花巻 はなよし
北上市	ぐんきん 花のやえがし バルテール 北上本店
久慈市	ひまわり生花店
遠野市	松田生花店
一関市	すがやう生花店 フラワーショップポプリ イオン店 フラワーショップポプリ 大町店 フラワーショップポプリ 生協店
陸前高田市	上野生花店 福田生花店
奥州市	サンエー花店 フルールマルシェ 奥州江刺店
矢巾町	バルーンフラワー
山田町	中村生花店

岩手県立花きセンター企画展 「花のある暮らし」

会場 岩手県立花きセンター 花の館ホール

問合せ 岩手県立花きセンター (TEL 0197-43-2107)

県産花きの 寄せ植えフォトスポット

主催 NPO法人Green Fields

農業大学校花き経営科による フラワーアレンジメント展示

詳しくはHPをチェック!
岩手県立花きセンターホームページ

各種イベント

参加費 無料【事前予約制】

宮沢賢治の世界を彩る花木 9/4(土) 13:00-14:30

講師 宮沢賢治の会(盛岡市)元事務局員 吉田 矩彦先生 定員 先着20名

寄せ植えワークショップ 9/5(日) 10:30-12:00

講師 NPO法人Green Fields 定員 先着10名

クレマチスの魅力と気楽な楽しみ方・育て方 9/5(日) 13:00-15:30

講師 (株)及川フラグリン、イーサゴナーリウムガーデン クレマチス専修講師 及川 洋蔵先生

いわてフラワー コンテスト2026

県内生産者が出品した選りすぐりの花きの展示を行います。

9/5(土) 11:00-16:00

会場 花巻市定住交流センター
「なはんプラザ」

主催 JA全農いわて

JA全農いわて 園芸部

園芸特産課

問合せ 事務局 (TEL 019-614-1895)

寄せ植えプランター展示 9/10(土)から30(水)まで

盛岡駅前等に岩手県産の花きを使った寄せ植えを展示します。

問合せ 事務局 (TEL 019-629-5707)

※期間は前後する場合があります。

主催 いわて花と緑の普及協議会 事務局・お問合せ 岩手県農林水産部農産園芸課内 TEL 019-629-5707 (受付時間 9:00~17:00)

構成団体 全国農業協同組合連合会岩手県本部、株式会社盛岡生花地方卸売市場、岩手県花き商組合、J F T D 岩手支部、NPO法人 Green Fields、新岩手農業協同組合、新岩手農業協同組合八幡平花卉生産部会、花巻農業協同組合、岩手県

イベント詳細は
ホームページを
ご確認ください



編集後記

まだ暑い日も続きますが、秋が待ち遠しい季節になりました
夏野菜にたくさん元気をもたらしたので、今度は秋の味覚が楽しみです (仲村)

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。
全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかになる願いが込められています。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

—私たちは「安心」を3つの視点で考えます。—

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 純情ブランド推進室
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8629 FAX019-626-8634
<https://www.junjo.jp>

